

= 支部だより =

東北支部

東北支部大会の開催報告

2008 年度の東北支部大会（理事会，総会，授賞式，特別講演会，研究発表会）が 2008 年 5 月 16 日（金）・17 日（土）の両日にわたって，山形県新庄市の雪の里情報館で開催された．特別講演会と研究発表会は一般市民にも公開され，会員，非会員あわせて 58 人の参加者があった（写真 1）．今大会の初めての試みとして，研究発表においてポスター発表のセッションを設けたところ，13 件の発表があった（写真 2）．また，口頭発表は 19 件であったが，1 題あたりの発表時間を 15 分間（質疑応答も含む）と長くしたことで活発な議論が行われた．今年度の東北雪氷賞は，学術奨励賞が 2 名に授与された．来年度の東北支部大会は福島で開催される予定である．なお，雪の里情報館では特別企画として中谷宇吉郎の書簡展が開催された．

特別講演会と研究発表会の内容は今秋発行予定の「東北の雪と生活」23 号に掲載される予定である．



写真 1 特別講演会

第 1 日目 5 月 16 日（金）

理事会 9:30～10:45

総会・授賞式 11:00～12:15

〔審議内容〕

- ・ 2007 年度事業報告，会計報告
- ・ 2008 年度事業計画，予算計画

- ・ 2008 年度東北雪氷賞選考結果報告
- ・ 東北支部の運営方針について
- ・ 次年度支部大会開催地，次期事務局について

〔東北雪氷賞受賞者〕

学術奨励賞：原田 鉦一郎（宮城大学食産業学部）

「電磁探査法による凍土の調査研究」

学術奨励賞：山口正敏（日本地下水開発株式会社）

「大地熱を用いた路盤融雪の研究」

特別講演会 13:30～14:50

『雪害調査所における雪の研究—「積雪の分類及び名称」を中心として—』

大友義助氏（雪の里情報館名誉館長）

『東北支部はどのようにして創られていったか—将来に期待すること—』

中村 勉氏（元国立防災科学技術センター
新庄支所長）

研究発表会

〔ポスター発表〕 15:00～15:30

1. 新庄で観測された降雪の酸性度調査
（1991/92 年-2002/03 年）
鈴木伸一郎・柳澤文孝・奥村信貴（山形大学），赤田尚史（環境科学技術研究所），阿部 修・佐藤 威・小杉健二（防災科学技術研究所）
2. 山形蔵王における雪氷現象の観測
（平成 19 年度）
沖田圭右・山谷 睦・沼澤喜一・原田俊明・小林英則・安彦宏人（日本地下水開発株式会社）
3. 山形蔵王の着氷の化学組成とイオウ同位体組成
小林慈聖・柳澤文孝（山形大学），阿部 修（防災科学技術研究所）
4. 2008 年 3 月 3 日に飛来した黄砂とチャイナヘイズの関係
柳澤文孝（山形大学）

5. 山形県烏海山の心字雪で採取した氷コア中の粒子状物質
伊吹 円・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 6. 積雪中に存在する粒子状物質の融雪に伴う挙動に関する実験的研究
伊吹 円・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 7. 名古屋市で採取したエアロゾルの化学組成
石垣温子・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 8. 下関市と福岡市で採取したエアロゾルの化学組成と粒子組成
遠藤智裕・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 9. 那覇市でハイボリュームエアサンプラーによって採取したエアロゾルの化学組成とイオウ同位対比
只野沙千江・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 10. 中国青島市・北京市でハイボリュームエアサンプラーによって採取したエアロゾルの化学組成とイオウ同位体組成
後藤秀美・柳澤文孝 (山形大学), 阿部修 (防災科学技術研究所)
 11. 中国四川省成都市でアンダーセンサンプラーを用いて採取したエアロゾルの粒径別の化学組成
伊藤寛人・柳澤文孝 (山形大学)
 12. 中国四川省成都市でハンディエアサンプラーを用いて採取したエアロゾルの化学組成
伊藤貴史・柳澤文孝 (山形大学)
 13. 吹雪により発生する音の特徴について
小杉健二・佐藤威・望月重人 (防災科学技術研究所)
- [口頭発表] 15:00~17:15
第1セッション (雪崩・雪害・測器) 15:30~17:15
- 座長: 小杉健二
(防災科研雪氷防災研究センター新庄支所)
座長: 山谷 睦 (日本地下水開発株式会社)
1. 棚田式フォレストベンチに植栽された6年生ケヤキ, ブナ, ミズナラ, トチノキの成長
東海林隆・小笠原淳・鈴木敏幸・金子善彦・佐藤友博・長沼昭仁・鈴木 純・塚原初男 (N-PSG 工法研究会)
 2. 同一山腹における全層雪崩予防工種の選定—横手市下片倉の事例—
小笠原淳・東海林隆・矢萩武志・佐々木信行・畠山千代志・塚原初男 (N-PSG 工法研究会), 三浦靖浩 (秋田県林業コンサルタント)
 3. 最近の表層雪崩の発生形態
力石國男・金田真一郎 (弘前大学)
 4. 2007/08年冬期の肘折地区における雪崩発生予測システムの運用
阿部 修・平島寛行・佐藤 威 (防災科学技術研究所), 後藤正孝 (山形県最上総合支庁), 小野正光 ((株)双葉建設コンサルタント)
 5. 2008年青森県の雪況 (青森県の雪況拾遺)
佐藤清一 (弘前大学医短大)
 6. 山形県における屋根雪関連事故の推移と事故防止のための取り組み
佐藤 威 (防災科学技術研究所), 日塔真之 (山形県総務部危機管理室)
 7. 冬期新庄における風車型風向風速計と超音波式風向風速計の動作状況比較 (2)
小杉健二・望月重人・佐藤威・阿部修・根本征樹 (防災科学技術研究所)

情報交換会 18:00~20:00 (大地会館)

第2日目 5月17日 (土)

研究発表会



写真2 ポスター発表

[口頭発表] 9:00~12:15

第2セッション (気象と積雪) 9:00~10:00

座長: 本谷 研 (秋田大学教育文化学部)

8. 福島県北部に出現する Line 状降雪雲
渡邊 明 (福島大学)

9. 青森県内における ^7Be ・ ^{210}Pb の大気中濃度と降下量

赤田尚志・川端一史・長谷川英尚・近藤邦男・築地由貴 (環境科学技術研究所), 佐藤忠広・古川 郁・久松俊一・稲葉次郎 (東北ニュークリア株式会社), 鈴木利孝 (山形大学)

10. 低温風洞を用いた樹氷の生成・成長における降雪の効果の実験的研究

菅原大樹・今木健人・藤原 桂・本谷研 (秋田大学), 小杉健二 (防災科学技術研究所)

11. 積雪と森林着雪モデルの現状

山崎 剛 (東北大学)

第3セッション (雪氷環境) 10:15~11:00

座長: 根本征樹

(防災科研雪氷防災研究センター新庄支所)

12. 季節積雪のアルベド低下に寄与する汚れ粒子・雪氷生物の調査

本谷 研 (秋田大学), 斉藤和之 (地球環境フロンティア/JAMSTEC), 小南靖弘・横山宏太郎 (中央農研北陸研究センター/NARC, NARO)

13. 2005-2007 年 ツンドラ火災後の永久凍土調査結果

原田鉦一郎 (宮城大学), 澤田結基 (北海道大学), 成田憲二 (秋田大学), 福田正己 (北海道大学)

14. 氷河湖決壊危険度評価のためのモレーンダムの耐力評価について

梅村 順 (日本大学), Vishnu Dangol (ネパール地すべり学会)

第4セッション (消融雪・吹雪) 11:00~12:15

座長: 佐藤 威

(防災科研雪氷防災研究センター新庄支所)

座長: 原田鉦一郎 (宮城大学食産業学部)

15. 太陽光屋根融雪システムの融雪性能評価

石田祐宣・力石國男・小川和香 (弘前大学)

16. 各種消雪システムの CO_2 の排出量の比較について

山谷 睦・山口正敏・沼澤喜一・堀野義人・桂木聖彦 (日本地下水開発株式会社)

17. 地中熱熱源による各種舗装体の融雪状況 (平成 19 年度)

山口正敏・沼澤喜一・安彦宏人 (日本地下水開発株式会社), 横山孝男・安原 薫 (山形大学)

18. 降雪時における吹雪跳躍層の発達過程の研究

根本征樹・佐藤 威・小杉健二・望月重人 (防災科学技術研究所)

19. 吹雪による積雪面の削剥現象に関する風洞実験 (その 2)

佐藤 威 (防災科学技術研究所), 杉浦幸之助 (海洋研究開発機構), 小杉健二・根本征樹・望月重人 (防災科学技術研究所)

支部機関誌「東北の雪と生活」発刊のご案内

2008 年度東北支部大会の特別講演会および研究発表会での発表を掲載した「東北の雪と生活」23 号が今秋発行されます。東北支部以外の方でご希望の場合には有料 (1,500 円の予定) で頒布しますので、以下にご連絡ください。

(社)日本雪氷学会東北支部幹事長 山崎 剛

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻

電話: 022-795-5781 FAX: 022-795-7758

E-mail: yamaz@wind.geophys.tohoku.ac.jp

(宮城大学食産業学部 原田鉦一郎)

(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所 阿部 修)

(2008 年 5 月 30 日受付)